

製品安全情報シート

改訂日： 2016年5月26日

廃棄文書：2014年11月28日

セクション1：製品と企業の確認

製品名 モノタロウ 完成バイト 方形バイト
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
整理番号 M191010

セクション2：危険性の確認

ダスト、ヒュームまたは酸化物を発生させる溶解、研磨、ふるい分け、その他の製造方法を用いる場合は、パラグラフ8の推奨に従うこと。加熱により危険なフュームが発生する可能性あり(セクション10.6参照。)。

セクション3：化学組成および成分に関する情報

元素名	製品の識別	%	規制 (EC) No. 1272/2008 [CLP]による分類
クローム	(CAS No.) 7440-47-3 (EC no) 231-157-5	$3,5 \leq x\% \leq 5,5$	分類なし。
コバルト	(CAS No) 7440-48-4 (EC no) 231-158-0 (EC index no) 027-001-00-9	$1 \leq x\% \leq 12$	Acute Tox. 4 (Oral), H302 Resp. Sens. 1, H334 Skin Sens. 1, H317 Carc. 1B, H350i Repr. 2, H361f Aquatic Chronic 4, H413
ニッケル (微量元素)	(CAS No) 7440-02-0 (EC no) 231-111-4 (EC index no) 028-002-00-7	$\leq 0,5$	Carc. 2, H351 STOT RE 1, H372 Skin Sens. 1, H317

EUH-のフレーズの全文：セクション14参照。

セクション4：応急処置

4.1. 応急処置の説明

一般的な応急処置： 疑いがある場合、または症状が続く場合は全て医師の指示を仰ぐこと。
皮膚接触後の応急処置： 皮膚接触後は、直ちに大量の水と石鹸で洗い流すこと。皮膚刺激の場合は、医師の診察を受けること。

4.2. 急性または慢性両方の最も重大な症状と影響

症状、損傷 アレルギー反応

4.3. 緊急医療処置および必要な特別処置

症状の疑いがある場合、または症状が続く場合は、必ず医師の診察を受けること。

セクション5 消火処置

5.1. 消火剤

適した消火剤： 火の周囲の状況に適した消火方法をとること。

5.2. 製品から生じる特別な危険

火災危険： 製品自体は燃えない。

5.3. 消防士に対するアドバイス

消火時の保護： 火災の場合、自蔵式呼吸具を着用すること。
その他の情報： 消火による流出水を排出管、水路に流さないこと。

セクション6：事故の場合の対処方法

6.1. 個人の予防措置、保護具および応急処置

一般的な対策： セクション7と8の保護対策を参照。

6.1.1. 非緊急対応人員の場合

防止装置： 要求される個人の保護具を使用すること。

6.1.2 緊急対応人員の場合

防止装置： 要求される個人の保護具を使用すること。

6.2. 環境に対する予防策

表層水にまた排水管に流れこまないようにすること。

6.3. 封じ込めと浄化の方法と材料

浄化の方法： ダストの発生を避けること。ダストの除去には認可された工業用真空掃除機を使用すること。

6.4. その他のセクションの参照

回収した材料は、廃棄について記載したセクション中の指示通りに処理すること。

セクション7：取扱いと保管

7.1. 安全な取扱いのための注意

- 加工の際の更なる危険：特に敏感な人間に感作を引き起こす可能性あり。
- 安全な取扱いの注意：ダストの発生を避けること。ダストを吸い込まないこと。フュームを吸い込まないこと。肌への長時間または繰り返しの接触を避けること。
- 衛生の手段：製品を扱った後、常に手を洗うこと。汚染した作業服を作業場から持ち出さないこと。

7.2. 混触禁止物質を含む、安全保管条件

- 保管条件：酸を形成するもの、酸化剤および還元剤と一緒に保管しないこと。

セクション8：曝露の管理および個人的防止

8.1. 管理要素

クローム (7440-47-3)

EU	IOELV TWA (mg/m ³) Notes	2 mg/m ³ (クローム無機化合物 CrIIおよびCrIII, 不溶性)
Japan (1)	JSOH (mg/m ³)	0.5 mg/m ³ (金属クローム)
USA - ACGIH	ACGIH TWA (mg/m ³)	0.5 mg/m ³
USA - NIOSH	NIOSH REL (TWA) (mg/m ³)	0.5 mg/m ³
USA - OSHA	OSHA PEL (TWA) (mg/m ³) Remark (OSHA)	1 mg/m ³ (金属クロームおよび不溶性塩 (Crとして))

コバルト (7440-48-4)

Japan (1)	JSOH (mg/m ³)	0.05 (mg/m ³) コバルトおよびその化合物 (Coとして)
USA - ACGIH	ACGIH TWA (mg/m ³)	0.02 mg/m ³
USA - NIOSH	NIOSH REL (TWA) (mg/m ³)	0.05 mg/m ³
USA - OSHA	OSHA PEL (TWA) (mg/m ³)	0.1 mg/m ³

ニッケル (7440-02-0)

Japan (1)	JSOH (mg/m ³)	1 mg/m ³
USA - ACGIH	ACGIH TWA (mg/m ³)	0.2 mg/m ³ (吸入) 0.1 mg/m ³ (溶性) 1.5 mg/m ³ (部分的吸入)
USA - NIOSH	NIOSH REL (TWA) (mg/m ³)	0.015 mg/m ³
USA - OSHA	OSHA PEL (TWA) (mg/m ³)	1 mg/m ³

8.2. 曝露の管理

- 適切な技術的管理：技術的な対策および適切な作業手順を用いることは、人身用防護装備の投入よりも優先される。
- 個人の保護具：ダスト保護：フィルタータイプ P3の防塵マスク、防塵服、手袋



- 手の保護：繰り返しのまたは長時間にわたる接触の場合、手袋を着用すること。EN-norms: EN 374
- 目の保護：防塵の場合：適切な保護用ゴーグルを着用すること。
- 肌および人体の保護：防塵の場合：防塵保護服を着用すること。
- 呼吸器官の保護：フィルター式のハーフフェイスマスク

セクション9：物理的、化学的特性

9.1. 物理特性、化学特性に関する基礎的な情報

- 物理的状態：固体
- 色：鉄鋼色
- 匂い：無臭
- 熔融温度：1200～1500°C
- 比重：7.8～8.2 (特定の鋼種についてはエラストールの書類を参照。)
- 爆発性：爆発性はない。
- 酸化性：酸化性はない。

9.2. その他の情報

追加の情報無し。

セクション10：安定性および反応性

10.1. 反応性

製品は正常な使用、保管、輸送条件で反応性は無い。

10.2. 化学的安定性

製品は正常な取扱い、保管条件で安定。

10.3. 危険有害反応可能性

追加情報無し。

10.4. 避けるべき条件

納入状態での製品では粉塵爆発は起こる性質はない。しかし、細かい粉の蓄積は、粉塵爆発を引き起こす危険がある。

10.5. 混触禁止物質

酸を形成するもの、酸化剤および還元剤

10.6. 危険有害な変質を引き起こす製品

金属酸化物

セクション11：廃棄の際に考慮すべきこと

11.1. 廃棄処理方法

廃物処理方法 材料のリサイクルが可能。削りくずの収集および再加工、切断等。
エコロジー - 廃棄物 下水に廃棄しないこと。法律に従って廃棄すること。

セクション12：輸送についての情報

輸送の法律上、危険物ではない。

セクション13：規制に関する情報

13.1. EUの規制

REACH

1907/2006/EC規制によれば、安全データシートを提供する法的義務はない。しかし、この製品の安全な使用に関して情報を提供するために、現在の安全情報シートを作成した。

REACH Annex XVII規制は無し。REACHの候補リストにある物質は含まれていない。

セクション14：その他の情報

変更の表示 変更はアスタリスク (*)で表示。
略語および頭字語 ACGIH American Conference of Governmental Industrial Hygienists
CAS Chemical Abstract Service
EINECS European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances
IOELV Indicative Occupational Exposure Limit Value
NIOSH National Institute of Occupational Safety and Health
OSHA Occupational Safety and Health Administration
PEL Permissible Exposure Limits
REL Recommended Exposure Limits
TWA Time Weighted Average.

その他の情報 上記の情報は、もっぱら製品の安全のための要求を記述しており、私共の今日の知識に基づいている。情報は、安全情報シートに記載された製品を、保管、加工、輸送、廃棄の際の安全な取扱いの際のアドバイスを与えることを意図している。情報は、その他の製品に拡大することはできない。この製品を他の製品と混触する、または、加工する場合、この安全情報シート中の情報は、必ずしも新たに作る製品には有効である訳ではない。

H-およびEUH-フレーズの全文：

Acute Tox. 4 (Oral)	急性毒性(経口) 区分4
Aquatic Chronic 4	水生環境有害性(慢性) 区分4
Carc. 1B	発がん性(吸入) 区分1B
Carc. 2	発がん性 区分2
Repr. 2	生殖毒性 区分2
Resp. Sens. 1	呼吸器感作性 区分1
Skin Sens. 1	皮膚感作性 区分1
STOT RE 1	特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1
H302	飲み込むと有害
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H334	吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ
H350i	吸入により発がんのおそれ
H351	発がんのおそれ
H361f	生殖能への悪影響のおそれ
H372	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
H413	長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

(1) 職業上の暴露の限度(2014-2015) - 日本産業衛生学会 - J Occup Health, 2014; 56: 401-420

本書は、あくまで本製品の健康、安全性、環境への配慮等に関わる情報のみを、現在の知見に基づき記載するものであり、製品に関する何らかの特性を保証するものではない。